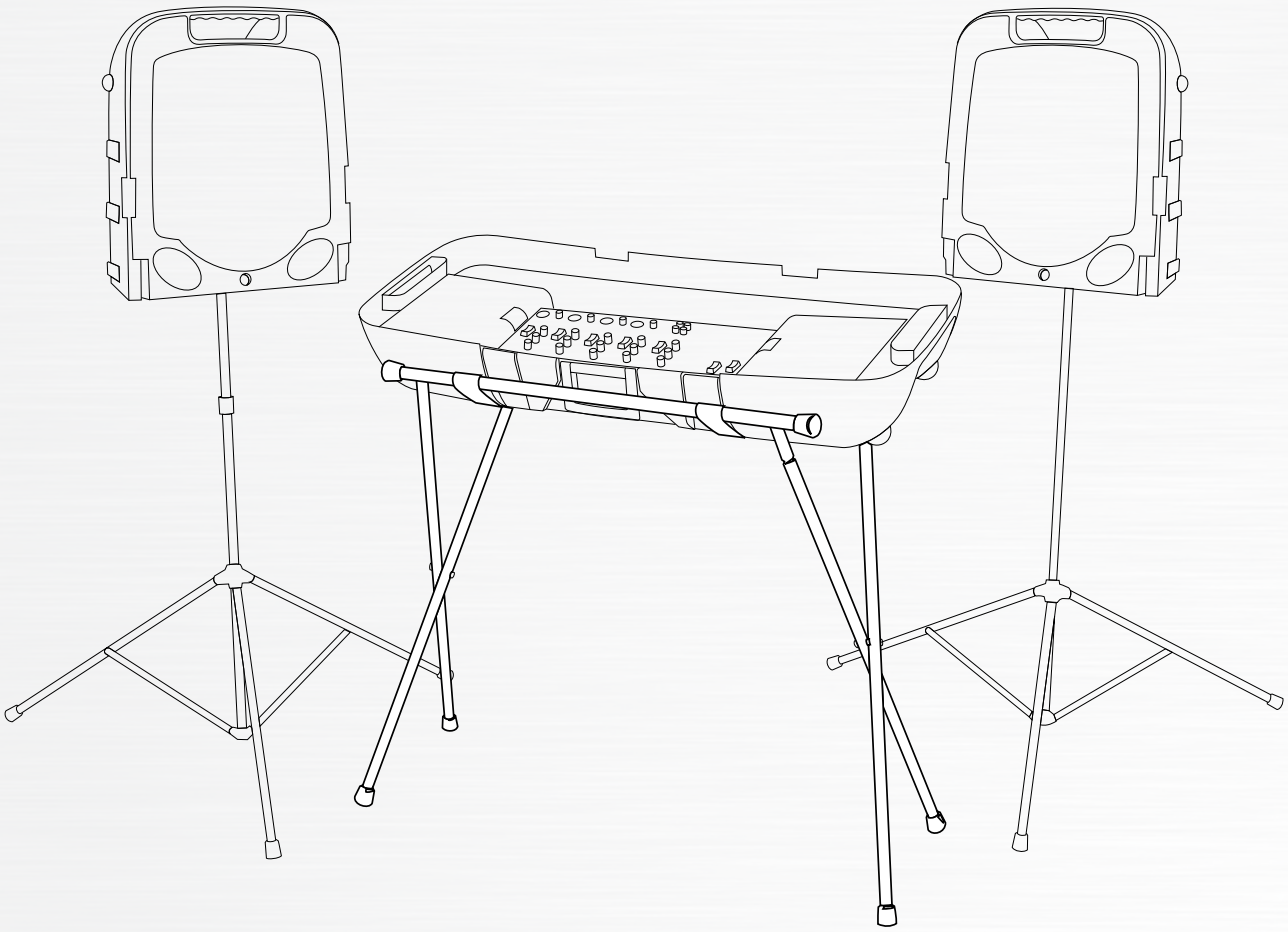
Escort® 2000
Portable PA System

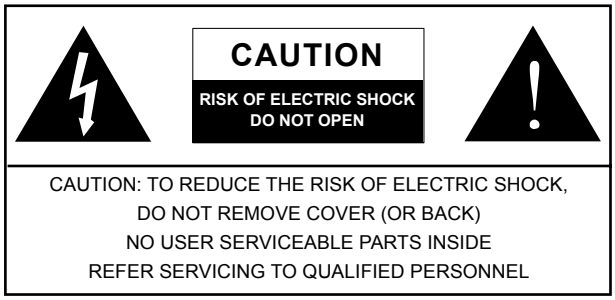
Operating Manual



安全上のご注意

当製品を安全かつ正しくお使い頂く為に、「安全上のご注意」及びこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
お読み頂いた後は、保証書と一緒に大切に保存して下さい。

1. この取扱説明書に従ってご利用下さい。
2. 温度の高い場所(直射日光が当たる場所や暖房器具の側など)や、湿度の高い場所(水気の近くや雨中などの濡れる場所)でのご使用・保管はお止め下さい。
3. 当製品を改造・分解しないで下さい。
4. 当製品は精密機器です。強い振動や衝撃を与えると内部に異常をきたす恐れがあります。運搬、ご使用の際の振動や落下に十分ご注意下さい。
5. 長時間ご使用されない時は、電源の元となる電源コードをコンセントから抜いておいて下さい。
(乾電池をご使用頂く製品は乾電池を取り外して下さい)
6. 100V 50/60Hzの定格電圧でのみご使用下さい。
7. 換気を必要とする機器は通気口を塞がない様にお気をつけ下さい。
8. 機器同士をケーブルで繋ぐ際は、全ての機器を繋ぎ終えた上で、電源を入れて下さい。また、電源を入れる前に機器のボリュームが最小値になっていることを確認して下さい。
9. 電源コード及び接続部には負荷がかからない様ご注意下さい。
10. 修理が必要な場合は、ご購入頂きました販売店様へご連絡を頂き、修理依頼をお願いします。
保証書が無い場合は保証が適応されませんので、大切に保管して下さい。



このマークは、製品の筐体の内部に電圧が流れており、感電する危険があることを示しています。

このマークは、付属の取扱説明書に大切な安全上の注意や操作方法が記載されていることを示しています。

はじめに

この度は PEAVEY 社のポータブル PA システム ESCORT をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。商品の性能をフルに発揮させ末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱い説明書を必ずお読み下さい。尚、本書が保証書となりますので、お読みになった後は大切に保管してください。

ESCORT　パッケージ内容と主な機能

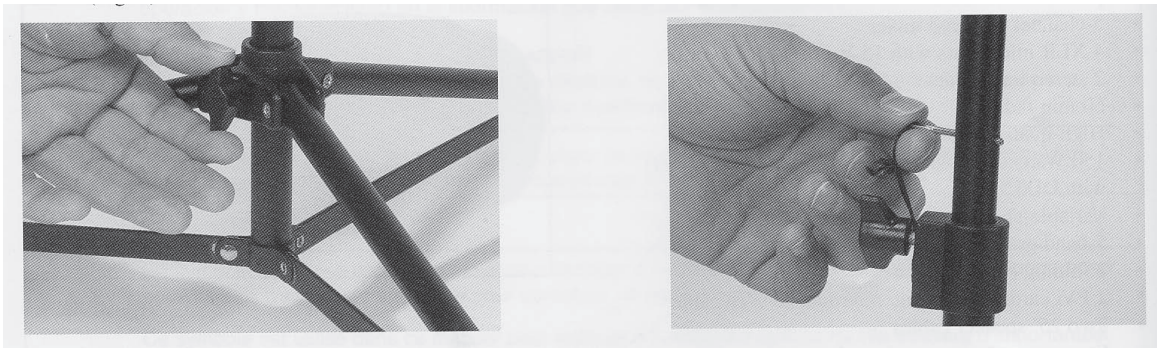
- キャスター付収納ケース
  マイク、ケーブル、アクセサリー用収納スペース付
- 2 ウェイ・スピーカーシステム 2 本
  10”ウーハー、ピエゾ・ホーンツイーター搭載
  スピーカーケーブル 2 本 7.5m
- スピーカースタンド折りたたみ 2 本
- 5 チャンネル・パワードミキサー
  ファンタム電源付キャノン入力×4、ステレオ・ライン入力 2 系統、60mm フェーダー、
  高品質デジタル・リバーブ、DDT 付 150W 出力（各チャンネル 75W）、可変速度冷却ファン、
  FLS 付 5 バンド EQ
- ダイナミック・マイク 1 本
  Pvi 単一指向性、マイクケーブル 6.0m 付き

ご使用の前に

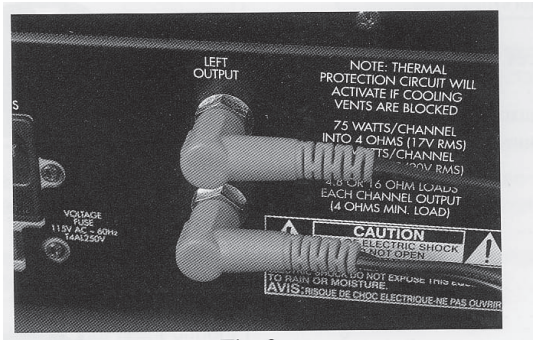
1. この取り扱い説明書にしたがって操作して下さい。
2. 水には大変弱いので、雨などがかからないよう充分ご注意下さい。
3. 内部には精密な電子部品が多数実装されています。移動及び輸送時には大きな衝撃が加わらないようにして下さい。
4. 本機の設置場所は直射日光の当たる場所やストーブの直前など、高温になりやすい場所を避け、なるべく通気性の良い場所で御使用下さい。
5. 定格電圧 AC100V,50/60Hz で御使用下さい。
6. 電源コードは機材への挟みこみ等、無理な力が加わらない様御注意下さい。
7. 信号の入出力端子に、許容範囲を越える異常電圧が加わらない様にして下さい。
8. 故障や感電事故を防止すると共に、性能を維持する為にも、ケースを開けて内部に触れたりしないでください。修理が必要な時には、販売店、もしくは輸入代理店までお問い合わせ下さい。

スピーカーの設置

1. スピーカーが上に来るようケースを置き、ラッチを上げてスピーカーを外して下さい。
   注意：スピーカーを外してからも、ラッチを閉める事は可能です。収納されている物とラッチを保護するためにも、スピーカーを外した後にはラッチを閉めて下さい。
2. ケースからスピーカースタンドを取り出します。安定感を保つために足を完全に開き、平らな面に設置して下さい。ベースのネジをしっかりと締めます。（ネジの締め過ぎに注意して下さい）スタンドの高さ調節後、ネジを締めセーフティー・ピンを挿入して下さい。



3. スピーカーをスタンドに設置します。マイクがスピーカーの音を直接拾わない所に設置して下さい。パワードミキサーのリアパネルからスピーカー前面下部にある入力端子とパワードミキサーの出力端子を付属のスピーカーケーブルで接続して下さい。



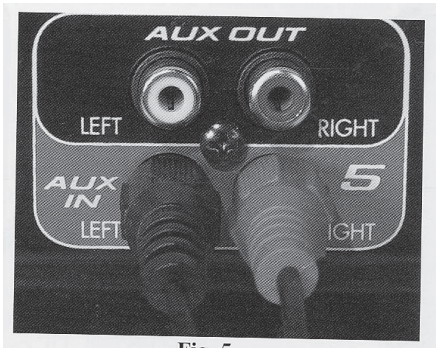
注意：ESCORT には他のスピーカーを接続しないで下さい。スピーカーとアンプは最適な組み合わせになる様デザインされています。

マイクの接続

ESCORT のパワーミキサーでは付属の PVI と同様に高品質のバランス、ダイナミックマイク及びコンデンサーマイクも使用可能です。マイクを XLR 端子（3 ピン）に接続して下さい。マイクを一本以上接続する際はステージに設置されている順番と同じようにチャンネルを振り分けて下さい。後からの調節が簡単になります。

CD・テープその他ライン出力機材の接続

CD プレーヤやテープ･プレーヤーなどを接続する際はチャンネル 5 の AUX 入力端子（AUX IN）に接続して下さい。ライン出力機材の接続を追加する際はチャンネル 5 にはステレオ・ライン入力が付いており、チャンネル 1-3 はモノラル（MONO）ライン入力があります。チャンネル 4LEFT/MONO 端子のみに接続すると自動的にモノラルに切替えられます。（音は両スピーカーから出力されます）



電源の接続

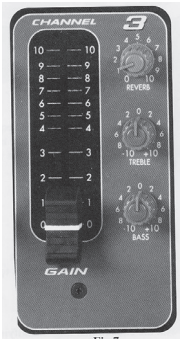
1. 電源を入れる前に電源スイッチが OFF になっていることを御確認します。
2. IEC 電源コードをバックパネルの電源端子に接続後、コンセントに接続して下さい。
3. 電源タップを使用する際は 3 ワイヤーコードを使用し、アースを取りながら使用して下さい。

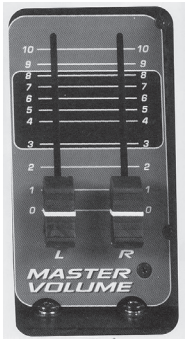
コントロールの設定と電源の入れ方

マスターコントロールを 6 に設定し、その他のコントロールを 0 に設定して下さい。電源は IEC 電源コード端子横の OFF/ON スイッチを ON にして下さい。

ゲインとボリュームコントロール（フェーダー）

ゲイン･コントロールを使用してスピーカーからの出力調節を行って下さい。ゲインの設定が 1～3 に設定されている状態で既に好みのレベルに到達してしまう場合はマスターボリュームを下げて調整して下さい。ゲインを 9～10 に設定しなければ十分に音が出ない場合はマスターボリュームを上げて調整して下さい。L と R のマスターボリューム・コントロールは左右の各スピーカー音量の調節を行います。





トーン・コントロールの調節

各チャンネルの BASS と TREBLE を調節します。お好みのトーンを調整して下さい。極端なブースト（+）はマイクを通してのフードバックを起しやすくするので注意して下さい。

グラフィック EQ

各チャンネルの BASS と TREBLE のコントロールとは別に、5 バンド・グラフィック EQ で信号の全体的なトーンの調整を行います。ここでもまた極端な調節は避けてください。FLS（フィードバック探知システム）LED インジケーターはフィードバック防止には欠かせないツールです。FLS 機能を使用する際、グラフィック EQ スライダーを 0 にして下さい。本番での使用前に、マスターボリュームと（または）チャンネルゲインをフィードバックが起こるまで上げてください。LED が点灯しているスライダーを若干下げてください。これでフィードバックが起こっている周波帯のゲインを下げます。これを繰り返す事でフィードバックが起こりにくい設定を完成することができます。（極端な調節は避けて下さい。）

ハウリングを避ける為に

ハウリングとはスピーカーから出力された音が再度マイクに拾い発生する状態のことです。ハウリングを出来る限り押さえるには EQ の調節を行う前にマイクとスピーカーを設置する位置を考えることが大切です。そしてスピーカーを出来る限りマイクに音がかぶらない位置に設置して下さい。これによりゲインを上げずに音を拾う事が出来ます。

リバーブ

マイクにリバーブを加える際、入力されているチャンネルの REVERB コントロールを上げながら最適なレベルに調整して下さい。

ステレオ/モノラル

エスコート 2000 パワードミキサーはステレオ・ライン機材用として入力チャンネルが 2 系統あります。（4ch と 5ch）両スピーカーを聞こえるように設置する場合は、ステレオでの仕様が効果的です。もしスピーカーが一つしか聞こえないような設置の場合です。モノラル仕様が効果的です。チャンネル 5 のモードスイッチを使用しステレオとモノラルの切替が行えます。チャンネル 4 では LEFT 入力のみを使用することで、モノラル仕様になります。チャンネル 1～3 はモノラルです。チャンネル 5 のモードスイッチは“スイッチトラック”を採用しているテープや CD を流す時に便利です。スイッチを MONO にすることで左右両方の信号を両スピーカーに流すことが出来ます。

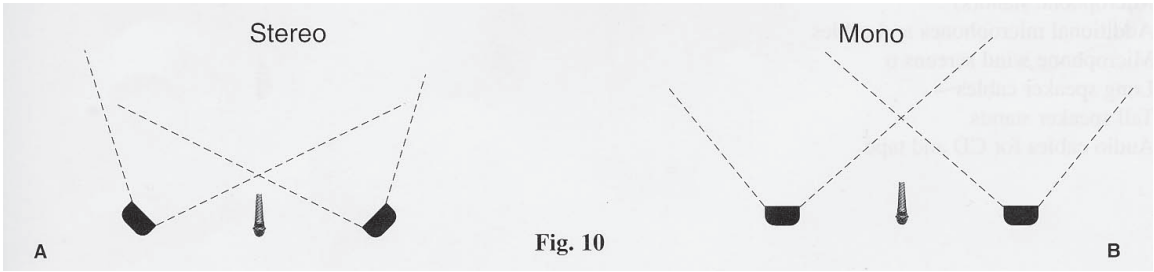


Fig. 10

メインとモニター

ESCORT2000 はステージモニターが必要な時も便利です。ミキサーをモノラル・モードにすることで一方を観客に、もう一方をモニターとして使用する事が可能です。マスターボリューム・コントロールの調節で左右のスピーカー音量を別々に設定する事が出来ます。このコントロールはそのために MAIN・MON と表示されています。（スピーカーの追加は AUX OUT から行って下さい。）

AUX OUT

AUX OUT とはミキサーからラインレベル出力を出す事で、レコーディングをしたり、AUX アンプをドライブする事も出来ます。

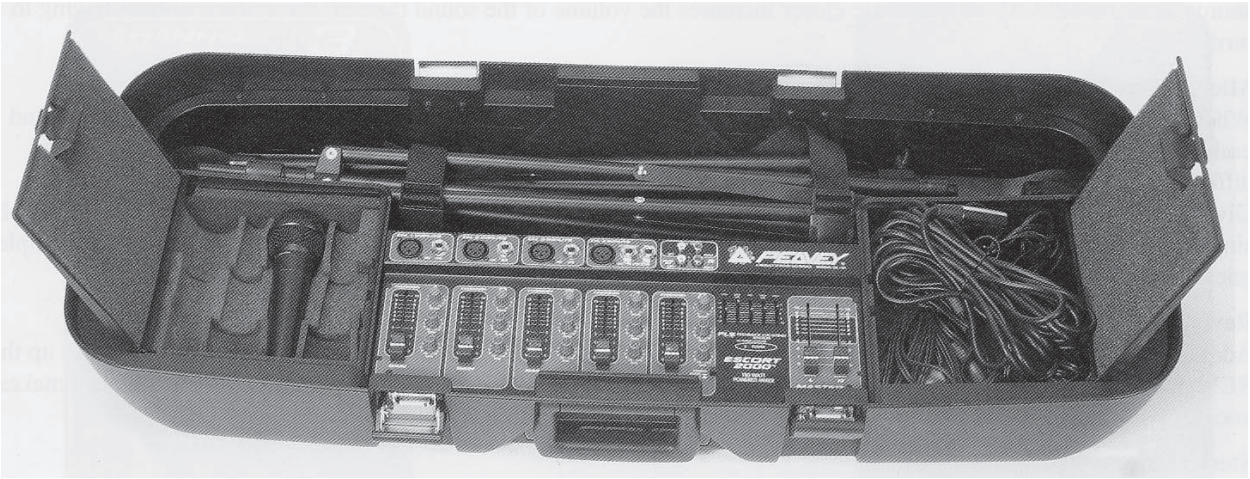
注意：AUX OUT から機材へ録音し、その機材から信号をミキサーに入力する事でフィードバック・ループを生み出してしまう可能性がありますので注意して下さい。接続する際は入力か出力のみをミキサーに接続して下さい。

ESCORT の収納

ESCORT の特徴は全て専用ケースに収まるという事です。

1. スピーカースタンドをたたみ、ケース内のストラップで固定します。
2. マイクを専用ケースに収納し、ケーブルをスピーカースタンドと一緒に入れるか小物ケースに収納して下さい。
3. スピーカーを下に向けて 4 つのラッチを締めて下さい。

これでキャスターを使用し移動が簡単に出来ます。



正規輸入代理店

株式会社　キョーリツコーポレーション

カスタマーサポート

〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町 1-9-11
　NEWS 日本橋堀留町ビル 10F
TEL : 03-5614-4133 FAX : 03-5614-2166
E-MAIL : support@kcmusic.jp